

樋門開閉装置の潤滑油状態調査について

第 56 回（平成 24 年度）北海道開発技術研究発表会

2013 年 02 月 19 日～2013 年 02 月 21 日

田中 隆夫（寒地機械技術チーム）／片野 浩司（寒地機械技術チーム）／山口 和哉（寒地機械技術チーム）

河川用機械設備は、その多くが建設後 30 年から 40 年を迎え、老朽化の進行に伴う信頼性の低下、それを回復するための維持管理費用の増加が問題となっており、設備の延命化や信頼性を確保しつつ効率的で効果的な維持管理が求められている。本稿では、簡易で的確な劣化判断手法と維持管理手法の検討を行うための基礎データの抽出を目的として、平成 23 年度に実施した樋門開閉装置の潤滑油状態調査とその結果について報告する。

**本論文閲覧ご希望の方は、当該学会等にお問い合わせください。**